



□基本理念

○利用者の心と体をもっとも大切に考え、自立と社会参加を援助することを基本理念としています。

○温もりのある心と未来を見通す広い視野をもって、利用者一人一人の持つ能力や才能を存分に発揮できるよう努めます。

たんぽぽのSDGs

施設長 澤井 康郎

落語にこんな話があります。長屋に引っ越して来たばかりの大工のはつつあんが、壁に物をかけるために、釘を打とうと思いました。金づちがないので、隣の熊さんに借りに行きました。すると、自分の金づちはないのかと聞かれ、はつつあんの返事はなんと、「うんや、持ってるが、使うと減るでな。」でした。これは物を大事にしているというより、ただの「けち」です。

さて、京都に「始末」という言葉があります。例えば、着物が着れなくなったり擦り切れてきたりすると座布団にしたり、座布団としてもダメになると、雑巾にと、姿を変えて使えるところまで使う。けっしてものを捨てない。こういうことを「始末がいい」と言います。また、江戸時代には不思議な仕事がありました。まず「おちゃんい」という仕事があります。実は、家々を回り落ちている髪の毛を拾ってかつら屋に売る仕事です。「落ちはないか」と呼びかけして歩いていたことから「おちゃんい」と呼ばれるようになったそうです。また、「とつかえべえ」という仕事があります。これは、古金属（鍋や釜や釘）を飴と取り替える仕事です。さらに、「かみくずひろい」という仕事があります。これは、大きなカゴを背負って、「くず〜い。くずやおはらい〜。」と言いながら、町を回ったのだそうです。当時、紙は貴重品でいったん書いた物や書き間違えた物も捨てることなく、回収され再生紙に生まれ変わりました。また、江戸時代は電気が無かったから、ろうそくのろうも貴重だったのです。ろうそくを灯すと、ろうがたれて下に落ちます。それを買集める商売もあったのです。また、灰を買う商売もありました。これは、ものを燃やした後に残る灰が、食器の洗剤や肥料に利用されたのだそうです。それに、水も大切にされていました。たとえば、お米をといだあとのとぎ汁は拭き掃除につかったり、またその残りを植木の水やりをしたり、水も無駄にしないで使っていました。江戸の人たちは、いらなくなったモノをすぐに捨てるということなく、修理して使ったり売ってまた新しく生まれ変わらせたりして、モノを大切に扱い心豊かに暮らしていたのです。私たちは、まだ使えるモノをすぐ捨てたり、無駄遣いしたりすることがあります。

3Rという言葉があります。Reduce（リデュース）ゴミを減らす、Reuse（リユース）再利用する、Recycle（リサイクル）資源として再利用する。これに今は2つ加えて5Rとも言います。Refuse（リフューズ）不要なものは買わない、Repair（リペア）修理して長く使う。たんぽぽでは物は大切にし、施設環境課が直せるものは直して再び活用し、節約しています。



6月の活動予定

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14 開所日
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

～ ご寄附をいただきました ～

令和7年2月23日、東京都南部労政会館において、昨年に引き続き、全国PHP友の会・PHP思いやり運動様より寄附金5万円を頂きました。たんぽぽの活動の中で、大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



就B お花見

四つ葉のクローバー探し



就Bでは3月に6グループに分かれ、お花見に行きました。ほぼ満開の桜でした。

出発前に花やビンゴカードを作成しました。各々ペンとビンゴカードを持ち、練馬総合運動場を一周散策しました。ビンゴカードにある草や花を見つけるとチェックをつけ「ビンゴ!」と嬉しそうに話す利用者さんもありました。また、花の名前がわからないと「これなんだ?」と職員に聞き積極的にビンゴに取り組む利用者さんもありました。

帰館後、他利用者さん同士で「つくしあった〜?」と談笑している様子が見られ、感想欄に「たのしかった」「はなきれいだった」と書いていました。職員も嬉しく暖かい気持ちになりました。

どのグループも天気にも恵まれたたくさんのお花を見て春を楽しむことが出来ました!

これからもイベントを開催して利用者さんの楽しみを増やしつつ地域と関わる機会を作っていきたいと思います。





生活介護 お花見



みんなで記念写真！！

つつじ公園を散歩中です



今年も近くの公園や街中の桜を探しにお花見に行ってきました。毎年、テーマを決めてお花見に出かけているのですが、今年のテーマは“春をみつけにいこう”に決めました。

暖かい陽気の中、「桜が咲いている。」「つつじはまだこれからだね。」といろいろな春をみつけながら、歩くことができました。

生活介護ではお花見だけでなく、季節に応じた様々な行事を行っています。夏に行っているたんぼまつ、ふゆじき、ほうねんかい、せつぶんなど、利用者の方々も毎月のカレンダー制作の中、「今月は〇〇があるんだ。」と話題にも出してくださり楽しみにしてくださっています。

また、今年から新しい試みとして“畑で採れた作物を地域の方々に配ろう”を行おうと考えています。たんぼぼには畑があり、生活介護でいろいろな作物を作っています。利用者の方々が自分で採った作物を、地域の皆さんに食べてもらい、たんぼぼを知ってもらおうと言うのがねらいです。

利用者の方々にも「いろいろな人に自分の作った野菜を食べてもらえて嬉しい」

と思ってもらえるように、楽しく野菜作りを行っていこうと思います。

今後もたんぼぼの様子を皆さんにお知らせできるよう、職員一同頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。